

晚餐は「檻」のなかで



[晚餐は「檻」のなかで 下载链接1](#)

著者:関田涙

出版者:原書房

出版时间:2007年02月

装帧:单行本

isbn:9784562040605

仇討ちのために用意された建物—「檻」。いまここに七人の男女がいる。彼らにはそれぞれ「殺人者」「被害者」「共謀者」「傍観者」「邪魔者」「監視者」それに「探偵」という役割が与えられている。たがいに自分の役割しか知らない。だから誰にも

気が許せない。やがて、ひとりが死体で見つかる。気鋭が満を持して書き上げた渾身の長編。

作者介绍:

関田 涙 (セキタ ナミダ)

1967年生まれ。2003年、『蜜の森の凍える女神』で第28回メフィスト賞を受賞しデビュー。

目录:

[晚餐は「檻」のなかで](#) [下载链接1](#)

标签

関田涙

◆推理◆

评论

以创意取胜的速成推理，不像是本格推理，不过アイデア和プロット我认为比较秀逸。但还是没到让人一震的地步，稍微小气

[晚餐は「檻」のなかで](#) [下载链接1](#)

书评

晚餐は「檻」のなかで [下载链接1](#)